

◇開会にあたり、津谷市長あいさつ  
市長 現在、全国的に少子化が進み、北秋田市も生まれてくるお子さんよりも亡くられる方が多く、人口減少がたいへん大きな問題となっています。  
原因は様々あるわけで、市としても一つ一つ解消し、少しでも歯止めがかかればと考えており、日本国中で地方創生を掲げるなか、北秋田市でも「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、その中には少子化対策も盛り込んでいます。少子化の原因の一つとして未婚化・晩婚化・晩産化を課題として、若い年齢からの啓発、結婚支援、不妊治療への助成を行い、安心して出産できるよう努めているほか、皆さんのように仕事と家庭を持っている方々が、両立できるような支援、子育てに関する負担の軽減、不安を解消できるような支援をしていきたいと思っています。  
これまでも、市では子育て支援の施策を展開し、少しずつ整備されてきてはいますが、まだまだ私たちの気づかないこともあると思います。今日の座談会を通じて、いろいろなお話をしていただきたいと思いますので、よろしくお願

子どもが生まれて変わったことは？  
◇食生活が…  
松岡 自分の健康管理ができないと、子どもをしつかりと見られないし、自分が風邪をひくわけにはいかないので、食事で健康管理をするように徹底していますね。  
梅井 子どもを産む前は、健康や食について特に考えませんでした。子どもが生まれてからは、母親として倒れることはできないし、食べるもので子どもが大きくなっていくと考えたら、一から体に良い物を作って、食べさせたいと思うようになりました。  
船橋 母乳で育てている時には、自分の食べたものが母乳に影響して、子どもにブツブツがたりして、反省することもありますね。  
松岡 そんな時でも夫は私の横で普通にビール飲んでるし。  
全員 そうそう。  
金澤 母乳は卒業しましたけど、お酒は解禁できないですね。自分の体調管理や緊急時に備えて。  
松岡 分かる。子どもに何かあったとき、対応するのは母親だし。  
市長 皆さん食生活を気にされているようですけど、お菓子は全くあげていない？

梅井 保育園に行くようになるとおやつ時間もあるので、いろいろなおやつを覚えてきますが、小さい時は量や回数を決めていました。  
松岡 おじいちゃん、おばあちゃんがねー。  
全員 そうそう。  
市長 孫に好かれたくてね。気持ちには分かりますね。  
船橋 添加物が入っているもので、世の中あふれているので、少し気を緩めると…。あまり過剰になっ

◇自分の時間が…  
金澤 自分の時間がなくなりましたね。1人目の子どもが産まれた時に気づいてはいましたけど、2人目が生まれたらそれが倍に。座る時間も夫婦で会話する時間も無くなり、二男は夜泣きがひどく、2人一緒に泣くこともあり、子育ては大変だと実感しています。  
船橋 自分のことが二の次、三の次になって、息子が寝てる間に自分のことをやっています。  
最近、早起きすると余裕が出てくることに気づいて、ご飯を作って洗濯して、空いた時間に、コーヒを飲んだりするのが、ストレスの発散になっています。  
市長 想像はしていましたが、たいへん苦労されていますね。子どもは天使のように可愛いですが、時にはわんぱくで手に負えないこともあるかと思っています。私たちは、日中は仕事をして夜の時間、朝の時間と大きな時間のくりで生活していますが、皆さんは10分、20分の時間を作ることを工夫されていて、子どもができて180度生活が変わるわけなので、もっと周りの人たちの手助けは必要と感じています。本当にお母さんたちには頭が下がります。  
※次ページに続く



## 新春特別企画



松岡咲子さん  
Sakiko Matsuoka

1歳の男子と夫、両親、祖母の6人家族。自宅を仕事場に、手作り餅ようかん・すまし餅の「技和」を経営。

## テーマは子育て 新春座談会

北秋田市の課題の一つ「少子化対策」について、現在、子育て中の方々と市長が意見交換を行い、皆さんの声をこ



梅井沙織さん  
Saori Umei

6歳の男子との2人家族。昨年から市民ふれあいプラザコムコム内のチャレンジブースで、健康美的サロン「Luxage」を開業。



船橋奈々恵さん  
Nanae Finabashi

1歳の男子と夫の3人家族。シンガーソングライター本城奈々として、歌の活動をしながら育児に奮闘中。



津谷永光市長  
Eikou Tsutsu



金澤由依子さん  
Yuiko Kanazawa

3歳・1歳の2男子と夫の4人家族。昨年、二男の保育園入園を機に、約4年ぶりに就職。現在はパートをしながら育児に奮闘中。